



2023年1月27日

各 位

会 社 名 アイ・ケイ・ケイホールディングス株式会社
代 表 者 名 代表取締役会長兼社長 CEO 金子 和斗志
(東証プライム コード番号: 2198)
問 合 せ 先 経 営 管 理 部 長 永島 和也
T E L 050-3539-1122

上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について

当社は、2021年12月13日に、プライム市場の上場維持基準への適合に向けた計画を提出し、その内容について開示しております。2022年10月31日時点における計画の進捗状況等について、下記のとおり作成しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準の適合状況の推移及び計画期間

当社の2022年10月31日時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況はその推移を含め、以下のとおりとなっており「流通株式時価総額」については、80.4億円と基準を充たしておりません。当社は、流通株式時価総額に関しては、2026年10月期までに上場維持基準を充たすために、引き続き各種取組みを進めてまいります。なお、社会情勢等を踏まえ、計画期間については変更する場合があります。

		流通株式数 (単位)	流通株式 時価総額 (億円)	流通株式 比率 (%)	1日平均 売買代金 (億円)
当社の適合 状況及び その推移	2021年6月30日時点	142,307	96.5	47.5	0.23
	2022年10月31日時点	130,747	80.4	43.6	0.30
上場維持基準		20,000	100	35.0	0.2
計画書に記載の項目		—	○	—	—
当初の計画書に記載した計画期間		—	2026年 10月期	—	—

※当社の適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等を基に算出を行ったものです。

2. 上場維持基準の適合に向けた取組みの実施状況及び評価

当社は、上場維持基準の適合に向けて、当初計画を軸に進捗しており、現時点で変更の必要はないものと判断しております。なお、計画書において開示した、取組みの基本方針、課題及び取組内容に関する進捗状況及び評価は以下のとおりです。

(1) 基本方針

当社は、中長期的な企業価値の向上を図るとともに、流通株式を増やすためのコーポレート・アクションを選択肢として検討し、プライム市場の上場維持基準への適合を目指してまいります。また、中長期的な企業価値向上の基盤強化のため、コーポレート・ガバナンスの一層の充実を図ってまいります。

(2) 課題及び取組み内容

①中長期的な企業価値の向上

(i) 基幹事業である婚礼事業の拡大

従来より取り組んでおりました出店方針である自然や景観と調和した広大な施設と地域の文化に合わせたサービスで「20年間勝ち続けることができるナンバーワンの婚礼施設」を目指し、出店地域の商圈に即した最適・最善な施設の開設を維持し、安定的な事業の拡大を狙います。なお、茨城県水戸市より公募事業の出店事業者として選定され、2023年4月に日本三名園のひとつに数えられる「偕楽園」の拡張部に、結婚式もできるレストラン、カフェ等の出店を予定しております。

また、新型コロナウイルス感染症の再拡大等により、未だ回復路線の半ばではあるものの、将来の利益の源泉である受注残組数は2022年10月末時点で5,223組と引き続き高水準を維持しております。

(ii) 既存事業の取り組み

介護事業では、2023年3月に佐賀県伊万里市に新たな施設「アイケアライフ伊万里」の開業を予定しております。

海外事業では、インドネシア共和国ジャカルタ市内に建つ5つ星ホテル「Le Meridien」と婚礼プロデュースの業務提携契約を締結いたしました。また、フォトスタジオ事業を開始し、2022年5月にジャカルタ市郊外の商業施設にフォトスタジオをオープンいたしました。

食品事業では、2022年7月にお菓子ブランド「morinoiro -モリノイロ-」を立ち上げ、ECサイトでの販売や有名百貨店でのポップアップストアの出店等をいたしました。

(iii) 新規事業の取り組み

当社は、2021年11月1日付で新規事業としてフォト事業と結婚仲介事業を開始し、それぞれAmbihone株式会社及びララ・クール株式会社を設立いたしました。

Ambihone株式会社はフォト専用ブース等を備えるフォトスタジオを展開しており、2022年8月に大阪府大阪市に「studio clori. (大阪支店)」をオープンし、2023年3月に名古屋でのフォトスタジオの出店を予定しております。婚礼事業で培った写真及びスタイリストのノウハウを活かして、フォトウェディングを含め写真を通じたお客様との繋がりを創出し、ご家族の大切な思い出を未来にお届けいたします。今後フォトウェディングの市場は、新型コロナウイルス等の感染症の影響もあり、拡大していくことが見込まれております。

ララ・クール株式会社は婚礼事業で経験をつんだプランナーをコンシェルジュとして採用し、真剣に結婚を考えている方々に良きご縁結びを提供しております。2021年12月には、事業を早期に軌道に乗せるために、業界老舗「パートナーエージェント」を運営するタメニー株式会社と資本業務提携を契約いたしました。また、2023年1月に福岡県福岡市に相談所を出店しております。

今後ともグループ全体のシナジー効果を発揮できる事業分野、有望とみられる事業分野に注目したうえで新規事業に取組み、中長期的な事業の拡大を目指します。

(iv) コーポレートガバナンス・コードに則った経営体制の構築と運営

新市場区分の趣旨を理解し、健全な事業運営と投資家様からの信頼をいただくために、任意の諮問委員会や特別委員会の設置を検討し、コーポレートガバナンスへの取り組みを強化し、コーポレートガバナンス・コードに則った経営体制の構築と運営に取り組みます。

②株主還元の向上

当社は、株主の皆さまに対する利益還元を経営の重要課題のひとつと認識し、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、経営成績に応じた配当を実施していく方針であります。誠に遺憾ながら2020年10月期より無配となり、株主の皆さまには大変ご迷惑をおかけしておりました。このような中、現状の当社グループの業績を踏まえつつ、今後の事業展開や財務状況等を勘案した結果、復配に向けた環境が整ったものと判断し、2022年10月期につきましては、普通株式1株当たり10円の期末配当を実施いたします。また、2023年10月期につきましては、普通株式1株当たり12円の期末配当を実施する期末配当予想といたしました。

併せて、株主の皆さまへの還元策のひとつとして、2022年12月から2023年1月にかけて自己株式の取得（4億円）を実施いたしました。

③流通株式数の増加

流通株式の更なる増加のため、主要株主の持株の見直しの検討を行います。また、国内の普通銀行、保険会社及び事業法人等の持ち合いの解消、相手先の売却について、引き続き交渉を進めてまいります。

以上の取り組みが当社への投資魅力を高め、当社の価値向上に繋がるものと考えております。

2022年10月期の取組内容及び結果については、大きな課題が生じていないものと考えており、引き続き計画書に基づく取り組みを鋭意進めるとともに、必要に応じたコーポレート・アクションにより企業価値の更なる向上を図り、プライム市場の上場維持基準の適合を目指してまいります。

以上